

## 相談専門部会 活動状況報告書

## 1 開催状況 ※前回全体会（令和3年1月）以降の開催状況

令和3年度 第1回 5月 17日（月） 場所：沼津市役所8階 802会議室

## 2 協議事項（貴専門部会で重要度の高い議題を2点以内に絞り込んでください）

## (1) 障害者基幹相談支援センターと相談事業所の連携について

## 内容：

「必要とされる全ての方に計画相談導入」を目標とし、実現のために必要な3つの柱について意識共有を行ったうえで、考えうる課題を抽出した（①各相談事業所内での工夫・②基幹相談支援センターの役割の明確化・③各相談支援事業所と基幹相談支援センターの連携）

検討結果・課題等：箇条書き（文章で記す場合は「内容」欄と同様に記載）

- 支援方針の共有や振り分けができない緊急ケースの対応方法について要検討。
- 事業所間の連携や全体のスキルアップのため、基幹センターが助言指導する。
- 各相談支援事業所と基幹センターとの連携については事例の積み上げが必要。

## (2) 障害児相談支援における特有の課題について

## 内容：

者のみ対応する場合と異なり、就学児や児者替えなどのライフステージの転換期において、保護者・保育教育機関の理解がうまく行かずに調整が難航することがある。

検討結果・課題等：箇条書き（文章で記す場合は「内容」欄と同様に記載）

- 療育・教育専門部会及び基幹センターと連携し、まずは実態把握を行う。
- 実情に合わせて、現実的な解決策を検討する。

## 上記以外の協議事項（上記(1)(2)以外特筆することがあれば、標題だけ箇条書きしてください）

- ◇ 事業所間での情報交換の場とスキルアップを目的とした研修機能を部会内に持つことを目指していく。

## 3 その他（自由記載）

障害者基幹相談支援センターとの連携は最重要事項であるため、その役割について、関係機関へ誤解のないよう正しく周知を行いたい。

障害者基幹相談支援センターの役割である「地域移行・地域定着の促進」に関し、本部会及び地域移行専門部会との連携の必要性について、今後検討したい。